

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			中庭、2階も利用出来十分だと思う。コロナ感染拡大防止対策の為、2つのグループに分けての活動を継続中。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	肢体不自由児や体の動きの調節が難しい利用児に対しては段差が多い。玄関での靴の履き替えは椅子を用意して対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			人事考課にて個々に目標設定と振り返りをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年度は年度の前半に実施。その年中に工夫・改善していけるようにした。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			年に2回法人全体の第三者委員会が行われている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			児童グループでの事例検討会を実施している。他に、今年度は法人の経験のある職員にスーパーバイザーをお願いをしケース会議を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			前期、後期の年2回、個別面談を行い、家庭での様子や事業所での様子など話し合う機会を設けている。また、支援計画を作成する前に保護者から支援計画に対する要望を伺い、計画に盛り込んでいる。今年度はコロナ禍での対応で書類のやりとりのみ実施させて頂いている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		法人内共通フェイスシートを使用。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			コロナ禍での自粛活動が増え外出活動が難しい現状ではあるが、毎週の1日活動ではメニューを工夫して案を出し合い企画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			共通の活動メニューでも、個々の過ごし方、寄り添い方、課題など細かな点を意識して寄り添っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団での一斉活動を意識して「始まりの会」を実施。また、ダンスやサッカー等を通し「皆で同じ」活動を楽しんだり、個々でチャレンジ出来るように設定をして成功体験を積めるように工夫している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		コロナの為、年度の終わりから始まりの3か月間ずっと1日活動の対応だった。その日の送迎の打ち合わせと活動場所、担当する職員の割振りの打ち合わせを朝のひととき済ませ活動に入って行く事が多くあった。2学期に入り午前中に詳しく振り返りと打ち合わせを実行している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後は送迎と清掃(消毒)で勤務時間いっぱいです。メールを使っての情報共有をその日に行い、次の日に詳細を共有するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			管理者・児発管が記録を読み返し、補足したり書くポイントを確認している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児発管・計画作成担当者が出席している。勉強の為職員が順番に一緒に参加させて頂く会議もある。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		FAXを使って1週間の利用者名簿を学校へ送っている。学校お迎え時に先生から引き継ぎがある。トラブル発生時こそ引き継ぎが大切だと感じているが、この頃「個人情報なので」と理由で知らせて頂けない事があるので、積極的にこちらから聞くようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		服薬の必要のある利用児には指示書を出してもらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	法人内事業所とは密に連携が取れているが、市内の児発事業所との連携はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		法人内事業所とは積極的に情報の共有をしている。活動プログラムの中に、お仕事体験デイを取り入れたり成人事業所職員の特技を活かしたプログラムを企画し連携をし、卒業前から事業所間で情報を共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		法人内事業所とは密に連携が取れているが専門機関との連携はない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	子ども同士の活動機会はないが、事例検討会を通して先生方と共通のテーマで話し合っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		柏市のこども部会等に参加し、関係情報の入手や関係事業者との交流、情報共有を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎の際、保護者と直接お話をしたり、連絡帳を通して情報のやり取りをしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	事例検討会を開催し、保護者も一緒に参加できるように案内を出し、お誘いしている。会を重ねる度保護者の参加が増えてきている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		個別面談や保護者会を行っている。また保護者からの質問があれば電話対応等で迅速に行っている。今年度は、コロナ対策の為保護者会は中止、重要事項の説明は書類を手渡しと郵送にて交わしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳を通しての相談や電話での相談など、その都度丁寧に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会や事例検討会では、積極的に保護者をお誘いしてきっかけ作りをしている。法人内交流だけでなく地域の事業所また関連保護者との交流も意識している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ヒヤリハット報告書や事故報告書、または直接メールや口頭で理事長に報告している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、活動の様子を通信などで発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども一人一人の意思伝達手段を尊重し、自己決定ができるよう配慮している。保護者へは、連絡のとりやすい方法を選んでもらっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		毎年、法人としてイベントを多く開催しており、地域の方と関わる機会となっている。また、ポスターを貼るなど事業所を通して案内をしている。今年も、コロナ禍のため開催できていない。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時・年度初めの保護者会で伝えているが、もっと周知していくには工夫が必要だと感じている。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		法人の避難訓練では職員のみ参加。毎月第4週目の各曜日に、利用児参加の避難訓練を計画し実施している。3月からコロナ対策の為中止していたが後期より3蜜対策をしながら実施していきたいと思っている。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修に参加したり、その報告書を回覧して虐待に対する意識を向けられるようにしている。また日々職員同士で振り返りをして話が出る環境作りを心掛けている。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束は実際にはまだないが、保護者からの要望があった時には、支援計画に記載していく。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			発作が起きた場合は、すぐに保護者へ連絡することになっている。服薬の必要がある場合は、医師からの指示書を提出してもらっている。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故があった際には、職員全体で書確認し、情報共有をしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		※1～47まで利用児なしの為取り組みなし。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		受け入れた場合は、保護者とよく保護者と話をさせて頂き支援計画を作成していく。相談員さんとも情報共有をさせて頂けるとより安心です。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		※利用児なしの為連携実践なし。利用実績があった場合敏速に対応する。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		放課後等デイサービスと同じ。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		

非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			